

事業実績書

1 事業名

備中地域における伝統芸能を通じた地域活動
～「本物の能楽」に触れて地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～

2 実施期間

令和3年4月18日～令和4年2月28日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

備中地域の伝統文化・伝統芸能を知ることにより、自らの存在が地域社会の中で育まれたことを再認識し、若い世代に地域のためにできること、故郷のためにできることを探すきっかけとなること、地域住民主体によるまちづくりや、地域住民による地域の魅力の発信など、当該地域の魅力の再発見につなげていくことを当該事業の目的とする。

② 事業の流れ等

次の3つの事業（イベント）を実施した。（うち1事業は開催中止）

（1）備中能楽講座 【開催回数：1回】

参加者：20名

開催日：令和3年11月14日（日） ※2度の順延を経て実施

会場：FLCビル（総社市）

対象：能楽に興味のある方

定員：20名 ※先着順

参加費：2,000円

講師：能楽師 観世流シテ方・林 宗一郎 氏

内容：能「藤戸」の内容等について、上演予定能楽師による講演を実施した。



（2）備中能楽体験教室 【開催回数：2回】

参加者：倉敷会場 16名、早島会場 13名(当日欠席2名) 計 29名

開催日：①令和3年7月18日（日） ②令和3年7月25日（日）

会場：①つくぼ片山家・能舞台（倉敷市）②いかしの舎（早島町）

対象：能楽を体験したい方（小学生、中学生、高校生推奨）

定員：各会場15名 ※先着順

参加費：1,000円 ※高校生以下は無料

講師：能楽師 観世流シテ方・樹下 千慧 氏、能楽師 幸流小鼓方・林 大和 氏

内容：「能楽」の仕舞・謡・小鼓を体験した。



(3) 備中伝統芸能フェスティバル（「藤戸」演能会 等） → **開催中止**

開催予定日：令和4年2月6日（日）

予定会場：倉敷芸文館ホール

予定内容：謡発表会、能楽解説、能楽「藤戸」上演会、及び地域活動団体等のステージ出演や展示等の企画参加を計画していた。

【企画参加を予定していた団体】

※下線は協働事業実施団体

- ◆ 豊洲如水太鼓 ◆ 茶屋町鬼太鼓保存会
- ◆ 一般社団法人にいみ木のおもちやの会
- ◆ 岡山県立倉敷天城高校
- ◆ 特定非営利活動法人地域資源文化研究所
- ◆ 白石踊800年の伝統を受け継ぐ会
- ◆ 新見・高梁情報コーナー
- ◆ 特定非営利活動法人まこと ◆ 有限会社藤戸饅頭本舗豊洲

【進め方・工夫等】

- ・ 事業（イベント）ごとに作成する「募集チラシ」のほかに、備中県民局協働事業として取り組む意義や事業概要等を周知し、実行委員や活動サポーターを募るための「事業概要パンフレット」を作成し、行政機関、学校、図書館、伝統芸能団体などに対面や郵送などの方法により広く配布するとともに、SNSでの情報発信に加え、テレビ、ラジオ、新聞広告などのツールも活用して、広報を行った。
- ・ 情報共有を行い、事業の進め方を確認・検討する場として、当法人と県民局、事業趣旨に賛同した者からなる実行委員会を複数回開催した。（全体会議は3回）
- ・ 能楽体験教室では、能楽をより身近に感じていただくため、リトミックと能楽を融合させ、“誰もが知っている童謡「桃太郎」を能楽で表現する“なども実施。気軽に参加できるよう、未就学児NGをなくし、児童・生徒等が安価、若しくは無料で参加できる形にした。
また、コロナ禍であったことから、参加者のグループを分け、複数の部屋で密集を避けて実施できる形とした。
- ・ 備中伝統芸能フェスティバルの実施にあたっては、企画参加の条件や遵守すべき事項などを定めた「企画参加規程」、広告掲載の応募に必要な事項を定めた「広告協賛・掲載応募に関する規定」などを整備し、伝統芸能団体や協働事業実施団体などに企画参加の呼びかけを行うとともに、地元企業等に対して協賛を募った。
- ・ チケットについては、外部委託での販売のほか、当法人からの直接販売も行った。

③ 成果・効果

今年度の成果目標である「地域の伝統文化を知ることにより、自分が住んでいる地域の活動に興味を持ち年齢層を問わず地域の伝統文化・伝統芸能に積極的に参加するようになる」、及び優れた伝統的な文化・芸術・芸能に触れることにより、若い世代が持つ創造力思考力等を養い、地域における伝統文化や伝統芸能を身近に感じられるようになる」という目標を計画した。

成果目標	指標	現状 (数値)	目標 (数値)	実績
はじめて伝統芸能に触れる地域住民の数を増加させる	参加者アンケートで「初参加」をカウント	0	各イベントで参加者比率25%	(1)約60% (2) 10%
企画を連携して運営できる団体等の獲得	後援や運営協力団体をカウント	0	団体数10か所以上	(3)中止 ※後援6 企画参加9 運営協力3 協賛6
伝統芸能を身近に感じてもらい、地域への愛着を醸成する	参加者アンケートによる意識の変化等	—	—	(3)で実施する予定であったことから未確認

※一部は実績。(3)のイベントは中止となったが、企画参加や協賛も多く得られる見込であった。

アンケート結果は添付のとおり

初参加の割合については、備中能楽教室で60%と高かったが、備中能楽講座は10%で、伝統芸能経験がある参加者が多くを占める結果となった。

イベントに参加していただいた備中地域住民には伝統芸能・伝統文化に身近に触れる機会を提供できたと考える。イベント催行には会場提供や地元高校生の参加など、地域活動とコラボレーションした催行を心掛けてきたため、当該事業の目的であった「伝統芸能を通じた地域活動」を展開させることになったと思われる。

なお、本来事業のメインイベントとして位置付けていた「備中伝統芸能フェスティバル」では、準備の段階で地元の伝統芸能団体、高校生などに舞台発表・出展を呼びかけ、多くの団体が企画参加予定であった。

しかしながら、感染症拡大の影響のため中止となり、地域住民に本物の能楽に触れる機会、地域の伝統芸能・伝統文化を広める機会を失ってしまった。企画参加申し込み団体との具体的な連携もできなかった。そのため来年度以降に改めて当該補助事業を活用して、再開催を予定している。

④ 今後の展開・課題等

【今後の展開】

今年度は倉敷市、早島町、総社市で体験教室や能楽講座を開催したことから、来年度は高梁・新見エリアで、再来年度以降は笠岡・井原市等の井笠エリアへと地域を広げ、開催したいと考えている。

メインイベントの「藤戸」演能会が今年度実施出来なかったことから、来年度はそのリベンジとして倉敷市芸文館で開催したいが、再来年度以降は規模を縮小して、持続可能な形で行うことを検討したい。

実施にあたっては、エリアの学校、伝統文化の継承団体などとも連携し、地域に愛着や関心を持っていただけるような事業を行いたい。中長期的には、これら団体等との交流を更に深め、ご当地で相互の活動発表を行うなど、志を同じくする活動団体と連携した場(プラットフォーム)を創り、そのような場が身近にあることで、地域の方が地域の魅力や伝統文化・伝統芸能を認識し、社会とのつながりを深めて、住民が主体的に地域活動を行っていくような機運を醸成したい。

【課題】

今年度の能楽体験講座は、伝統芸能経験がある参加者が多くを占める結果となったことから、講師等とも相談し、学生等を対象とするような内容も検討してまいりたい。また、イベントに参加された方の意識の変化や効果等について、アンケートの内容が不十分と感じたため、来年度は、効果を測定できるようなアンケート内容を検討して実施したい。

コロナ禍が予想以上に長引いており、感染拡大の状況を注視して実施していく必要がある。

⑤ 県民局と協働した効果及び課題

【効果】

県民局のもつネットワーク・発信力を活用し、備中エリアにある地元自治体や図書館等の文化施設等に効率的に広報が展開できた。また同じ補助事業を活用して地域活動を展開していた他団体の実践発表の場とステージ企画をコラボレーションすることをご提案していただく等、新たな協働の場を事業内で提案していただいたことは双方にとって有意義なものであったと思われる。

【課題】

公費助成のために仕方ない部分かもしれないが、膨大な事務作業と県民局をはじめ関係者との意見調整、意思決定調整等に膨大な時間を費やした。人材不足が否めない零細 NPO 法人にとって補助金受給は魅力的であるが、その受給のために必要となる膨大な事務作業が補助申請のネックとならないような事務の簡素化等の運用改善が必要かと思われる。



R4.2.1 変更分

様式第5号-1 (第10条関係)

事業変更計画書

①団体名	特定非営利活動法人 つくぼ片山家プロジェクト
②テーマ区分	指定テーマ(4) 「備中地域の魅力・伝統文化の発信」
③事業名	備中地域の伝統芸能を通じた地域活動～「本物の能楽」に触れて 地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～
④採択回数等	1回目(初申請) *令和2年度に採択され、継続する事業については、いずれかを○で囲んでください。 新制度の適用 ・ 経過措置規定の適用 (補助率4/5以内、上限160万円) (補助率1/2以内、上限100万)
⑤事業目的	備中地域の伝統文化・伝統芸能を知ることにより、自らの存在が地域社会の中で育まれたことを再認識し、若い世代に地域のためにできること、故郷のためにできることを探すきっかけになればと考える。この事業により地域住民主体によるまちづくりや、地域住民による地域の魅力の発信など、当該地域の魅力の再発見につなげていきたい。
⑥現状及び課題	能楽や神楽などの伝統芸能の文化は岡山県のみならず全国的に指導者の高齢化や能舞台等の活動の場所の減少により、そのポテンシャルを十分に発揮できない状況にある。また、能楽や神楽という名称は知っていても実際にそれらを体験・鑑賞したことのある人々は減少の一途となっている。こうした現状に拍車をかけることとして「本物の伝統芸能」に触れる機会がなく仮に貴重な機会として地元備中地区で上演会等が開催されたとしても、開催経費等の関係で受講料・観覧料が高額となり、一般的な市民、特に学生や若者層はその負担から参加を躊躇してしまうといった課題がある。
⑦事業内容	<p>(1)「備中能楽講座」(能楽night in総社)【開催回数:1回】 開催日:令和3年5月8日(主) 令和3年11月14日(日) *2回延期した後に実施 会場:総社市・FLCビルかぐらや(「NPOかんなぎ」との連携) 参加者:備中エリア地域住民(主に総社エリア) 講師:林宗一郎(観世流シテ方) 内容:源平合戦を取り上げた能について講演会を行い、謡の体験をする。</p> <p>(2)「備中能楽体験教室」【開催回数:2回】 開催日:①令和3年7月18日(日) ②令和3年7月25日(日) 会場:①「つくぼ片山家・能舞台」(倉敷市) ②「いかしの舎」早島町 参加者:小中高生他、地域住民 講師:観世流シテ方、幸流小鼓方 内容:室町時代から続く日本の伝統芸能「能楽」の仕舞・謡・小鼓を体験する。主として、地域の小学生から高校生を対象に、プロの「能楽師」からレクチャーを受けられる貴重な経験の場である。</p> <p>(3)「備中伝統芸能フェスティバル」(「藤戸」演能会等)【開催回数:1回】 開催日:令和4年2月6日(日) 会場:倉敷芸文館ホール 参加者:備中エリア地域住民他、近隣の関心を持つ人 内容: (1)謡発表会…能楽講座で体験した一般参加者が謡の発表会を行う。 (連携して活動した団体の活動等のコラボレーションも企画中) (2)能楽解説(歴史的背景等講話):「藤戸」を紐解く (3)能楽「藤戸」(出演:林松響会) *地域活動団体等の企画参加募集やチラシ作成などの準備等</p>
⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応	オンラインでのWEB配信や小規模会場での規模縮小等を検討し、可能な限りの開催を目指す。(開催の状況を収録。YOUTUBE等で配信) また当該イベントに興行保険をかけ、万一開催中止になった場合の損失に備える。 *WEB配信は会場、日程の都合により難しいと判断

中止

<p>⑨今年度の成果目標と指標</p>	<p>①地域住民に広く「本物の伝統芸能」に触れる機会としての企画・イベントを開催し、伝統芸能や伝統文化について、身近に感じてもらう機会を創出する</p> <p>②備中県民局管内の行政機関、市民団体や学校等と連携して企画を運営・広報することで伝統芸能を通した、地域活動を連携や協働して活動できるネットワークをつくる。</p> <table border="1" data-bbox="424 302 1453 568"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>指標</th> <th>現状(数値)</th> <th>目標(数値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はじめて伝統芸能に触れる地域住民の数を増加させる</td> <td>参加者アンケートで「初参加」をカウント</td> <td>0</td> <td>各イベントで参加者比率25%</td> </tr> <tr> <td>企画を連携して運営できる団体等の獲得</td> <td>後援や運営協力団体をカウント</td> <td>0</td> <td>団体数10か所以上</td> </tr> <tr> <td>伝統芸能を身近に感じてもらい、地域への愛着を醸成する</td> <td>参加者アンケートによる意識の変化等</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)	はじめて伝統芸能に触れる地域住民の数を増加させる	参加者アンケートで「初参加」をカウント	0	各イベントで参加者比率25%	企画を連携して運営できる団体等の獲得	後援や運営協力団体をカウント	0	団体数10か所以上	伝統芸能を身近に感じてもらい、地域への愛着を醸成する	参加者アンケートによる意識の変化等	-	-
成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)														
はじめて伝統芸能に触れる地域住民の数を増加させる	参加者アンケートで「初参加」をカウント	0	各イベントで参加者比率25%														
企画を連携して運営できる団体等の獲得	後援や運営協力団体をカウント	0	団体数10か所以上														
伝統芸能を身近に感じてもらい、地域への愛着を醸成する	参加者アンケートによる意識の変化等	-	-														
<p>⑩中期(数年)的な目標</p>	<p>■当法人だけでなく、備中県民局管内の伝統芸能で活動している団体等と連携して、具体的な企画・イベントを協働開催する。また、ご当地で相互の活動発表を行うなど、志を同じくする活動団体と連携した活動が可能となる「場」(プラットフォーム)を創ること。</p> <p>■伝統芸能に限らず、観光や地域振興、福祉実践等、地域で精力的に活動されている多分野・多方面の地域活動とコラボレーションし、新たな着眼点での事業協働や企画運営を行う。</p>																
<p>⑪長期的な目標</p>	<p>地域住民が地域の伝統文化にふれ、地域の魅力や伝統文化・伝統芸能を認識することにより地域社会におけるつながりを深め、地域住民が主体的に地域活動を担える雰囲気醸成する。(地域の出来事を「わがごと」として、「地域丸ごと」で取り組む、まちづくり文化の醸成)</p>																
<p>⑫翌年度以降の事業展開の予定</p>	<p>能楽講座・体験教室の対象地域を拡大し、今年度開催できなかった他の備中エリア(例：井原・笠岡市等)での開催を計画。地元学校や伝統文化の継承団体等ともさらに連携し地域に愛着や関心を持ってもらえるような事業を行いたい。</p>																
<p>⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント</p>	<p>■当法人が管理・運営する「つくば片山家」には能舞台があり能楽関係のイベントを主催できる会場を活用した企画が可能。</p> <p>■能舞台の存在から伝統芸能関係者・能楽関係者だけでなく、地域の伝統文化に興味をもち積極的に活動している人材とのネットワークがある。</p> <p>【助成実績】福武教育文化振興財団・教育文化活動助成(2018-2020年継続助成)</p>																
<p>⑭想定される役割分担</p>	<p>【団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「備中地域の伝統芸能を通した地域活動～「本物の能楽」に触れて地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～」の事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画にあるイベント(備中能楽講座、能楽体験教室、備中伝統芸能フェスティバル等)を企画・立案すること。 ・進捗管理を適切に行い、業務日程計画表に沿って事業を遂行すること。 ・次年度以降も同様の事業が継続できるよう、関係機関・団体等との連携を強化し、ネットワークを構築すること。 ■各種保険への加入 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の不慮の事故や、天災等によるイベント中止に備え「興行賠償責任保険」及び「興行中止保険」へ加入すること。 ■事業報告書等の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・中間報告及び事業実績報告書の作成を行うこと。 <p>【県民局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■企画への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・甲が実施する事業「備中地域の伝統芸能を通した地域活動～「本物の能楽」に触れて地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～」に対し、助言を行うこと ■イベント告知・参加者募集等への協力・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・備中県民局管内の関係機関や市町村にチラシ等を配布するなど、県民の参加がより広く得られるように支援すること。 ・募集段階から事業実施に至るまで、マスコミを利用した広報に努め、事業成果を高めること。 ・連携可能な行政機関や特定非営利活動法人との協働を支援すること。 ■補助金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画、役割分担にそって予算の範囲内で、甲に対して補助をすること。 <p>【その他】</p> <p>マスコミや地域の学校、文化振興財団等への広報協力依頼等</p>																

【理由・期待できる相乗効果】

- 地域住民や地域の学校、文化振興やまちづくりを実施している特定非営利活動法人等と連携→各々の立場で企画の立案や運営に参加の協力依頼→活動を通して備中地域の伝統文化に関心を持ってもらう。
- 行政ホームページやイベント案内等により地域外の関心を持つ層に情報を発信。当該地域に訪れて伝統芸能に触れてもらう機会を増やす。こうした取り組みにより企画に参加する地域内・外の交流人口を増加させ、備中地域の魅力として伝統文化・伝統芸能を再発見する機会を設ける。
- 備中地域を舞台とした伝統芸能である能楽「藤戸」の存在を発信して、さらなるイベントの注目が高まることを期待する。

<記入上の注意事項>

- 1 それぞれの項目についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 2 「⑤事業目的」欄は、事業を通じて目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境など）、解決したい地域課題や受益者等を踏まえて記入してください。
- 3 「⑥現状と課題」欄は、理想と現実とのギャップ（問題）、事業実施の要因となる地域課題等について記入してください。根拠となる統計データや当事者ニーズ等があれば、それも示してください。
- 4 「⑦事業内容」欄は、課題解決や事業目的における意味・位置づけとともに対象者、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに分かりやすく記入してください。
- 5 「⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応」欄は、代替案の検討、事業縮小、事業中止などの考えを記入してください。
- 6 「⑨今年度の成果目標と指標」欄は、⑤の目的を果たすために今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を具体的に記入し、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値について記入してください。具体的な数値が得られない場合は、目標と指標のみを記入してください。
- 7 「⑩中期（数年）的な目標」欄及び「⑪長期的な目標」欄は、⑤の目的を果たすため、中長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
- 8 「⑫翌年度以降の事業展開の予定」欄は、「⑩中期（数年）的な目標」及び「⑪長期的な目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源等について記入してください。
- 9 「⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント」欄には、備中地域への波及効果、事業の先進性、先駆性及び独自性に関すること、継続事業における活動実績や成果等について記入してください。
- 10 「⑭想定される役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を記入するとともに、その他関連団体や機関の想定される役割等を記入してください。
- 11 変更部分を朱書き又はアンダーラインにより、変更前後が対照できるように記入してください。



14.2.1 変更分

様式5号-2 (第10条関係)

日程変更計画表

年月	事業内容	場所	規模等
R3. 11.14 5.8	「備中能楽講座」	総社市 「FLCビル」 「総社かぐらや」	20人程度
R3. 7.18 7.25	「備中能楽体験教室」 倉敷会場 早島会場	つくぼ片山家 いかしの舎	各回 定員15人 20人程度 20人程度
R4.— 2.6 中止	「備中伝統芸能フェスティバル」 ①能楽講座で体験した一般参加者の謡の発表会 や関係地域活動団体等によるパフォーマンス等 の企画参加募集 ②能楽解説(歴史的背景等講話) タイトル:「藤戸」を紐解く ③演能会(演目:「藤戸」) *実施に向けた準備、中止に伴う事務等	倉敷芸文館 —大ホール	300人程度

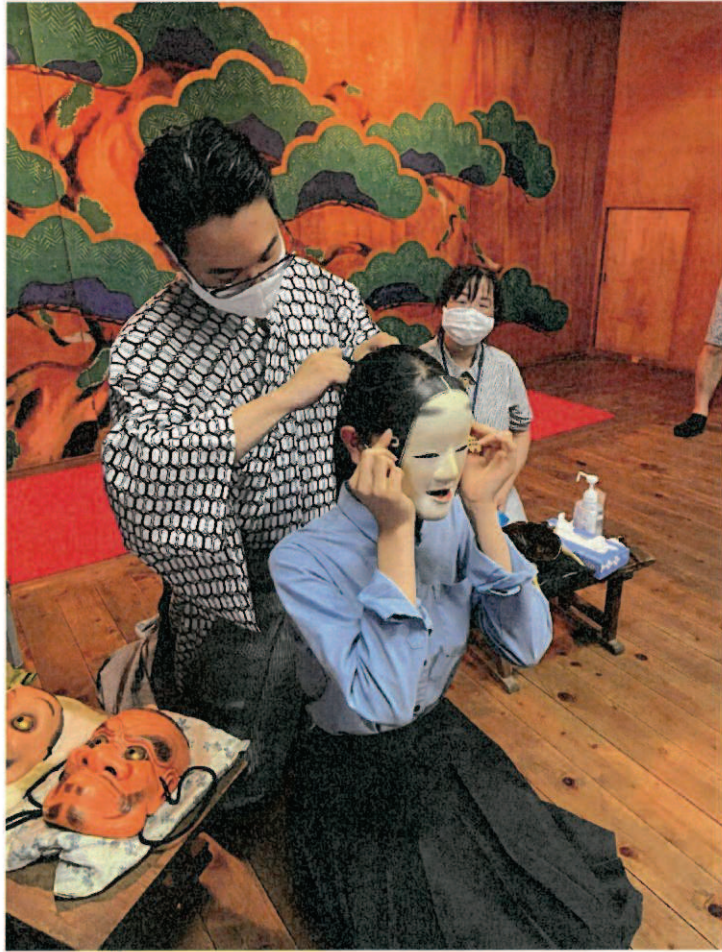
<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください(例:〇〇市文化センター、△△市内)。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。
- 4 変更部分を朱書き又はアンダーラインにより、変更前後が対照できるように記入してください。

「備中能楽体験講座」



「備中能楽体験」





【実行委員・活動サポーターの募集！】

当法人は、令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業により備中地域の魅力・伝統文化の発信に取り組み、この事業を通して、地域の多様な主体との連携を深め、地域の活性化を図りたいと考えています。私達と共にイベントを盛り上げ、「活力ある地域づくり」の担い手になりませんか。実行委員と活動サポーターを募集しますので、ご協力いただける方はホームページをご参照のうえ、お申込みください。

※参加形態については個人・団体を問いません。

※学生グループ、地域サークル等の参加も大歓迎です！

【募集メンバー】

① 実行委員

実行委員会の委員として、イベントの企画立案、運営に参加していただきます。皆様の得意分野や才能を是非発揮してください。

② 活動サポーター

ボランティアスタッフとして、イベント当日の運営に参加していただきます。イベントを成功に導くため、応援してください。

詳しくはこちらから



つくば片山家プロジェクト

※インターネットでのお申込みが難しい場合は、下記事務局へご連絡ください。詳細についてご説明いたします。

特定非営利活動法人
つくば片山家プロジェクト事務局

〒710-1101岡山県倉敷市帯高727

連絡先：080-3107-5759（代表 滝口携帯）

【HP】 <https://projectkatayama.wixsite.com/p-katayama>

【E-mail】 project.katayama@gmail.com

令和3年度

岡山県備中県民局 提案型協働事業

備中地域の伝統芸能を 通した地域活動

～「本物の能楽」に触れて地域における
伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～



伝統芸能の普及も地域活動・まちづくりの一環

地域で「本物に触れる」機会を創ろう

ごあいさつ

当法人は倉敷市帯高にある古民家「つくぼ片山家」を活動拠点にして、当屋敷の保存・活用を通して伝統芸能をはじめとする文化芸術の継承や地域での活動によるまちづくりや地域包括ケアの推進を旨とする特定非営利活動法人です。この度、岡山県備中県民局と連携した事業（提案型協働事業）に応募し、能楽に関心がなかった地域住民や若い世代が地域の伝統文化・伝統芸能に興味を持ち、地域の活性化が図られるよう、能楽講座・能楽体験を開催するとともに、能楽体験者による発表会や、能楽「藤戸」演能会等を実施する事業を提案し、検討の結果、事業化されました。

つきましては、地域の皆様には是非ともこの事業に興味・関心を持っていただき、各種イベントにご参加いただければ幸いです。今後とも、活動につきご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

当法人の概要

法人名	特定非営利活動法人 つくぼ片山家プロジェクト
代表	滝口美保
所在地	岡山県倉敷市帯高727
TEL	080-3107-5759 (代表 滝口 携帯電話)
E-mail	project.katayama@gmail.com
URL	https://projectkatayama.wixsite.com/p-katayama
設立	2017年11月
会員数	30名(2021.1現在)
事業内容	つくぼ片山家の保存・活用 文化芸術の継承に関する事業 まちづくりや地域包括ケアの推進

事業概略

事業名称	令和3年度岡山県備中県民局 提案型協働事業
当法人提案 採択事業名	備中地域の伝統芸能を通して 地域活動 ～「本物の能楽」に触れて地域に おける伝統芸能・伝統文化を再発見 しよう～
事業年度	2021年度(令和3年度) (複数年度にわたる事業提案予定)
主な イベント	実行委員会下記イベントを 企画運営 ①備中能楽講座 ②備中能楽体験教室 ③備中伝統芸能フェスティバル 岡山県備中県民局 連携・協力 備中県民局管内の行政機関等

「つくぼ片山家」



主な事業（イベント内容）

備中能楽体験教室（①倉敷会場：つくぼ片山家 ②早島会場：いかしの倉）

開催日：①2021.7.18（日）②2021.7.25（日）

開催会場：①「つくぼ片山家」（倉敷市帯高727）

②「いかしの倉」（都窪郡早島町早島1466）



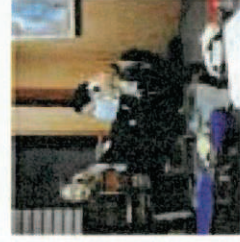
「能楽」の仕舞・謡、小鼓を体験できるイベント。主に小学生や中学生等を対象にした体験イベントを実施します。プロの能楽師から学べる貴重な機会となります。

備中能楽講座（総社会場）

募集開始

開催日：2021.11.14（日）

開催会場：「FUNLIFE CenterBuilding」
(総社市中央2-2-8 FLCビル)



観世流シテ方林宗一郎先生を講師に招き、備中地域にまつわる能楽に関する講演会を実施します。能楽の基礎から、ご当地にまつわる演目、登場人物の人物像など興味深いお話が聴講できます。

備中伝統芸能フェスティバル（「藤戸」演能会等） 会場：倉敷芸文館

開催日：2022.2.6（日）

開催会場：「倉敷芸文館」（倉敷市中央1-18-1）



各種伝統芸能や体験者による謡の発表会のセッション、能楽の解説、林松響会による本格的な能楽鑑賞（演能会：演目「藤戸」）を実施します。当該事業の集大成として、本物の能楽に触れることに加え、地域で活動している団体・個人の発表・交流の場となるよう計画中心。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、事業の中止、及び一部縮小等の可能性があります。

備中
能楽講座

2021年11月14日(日)

14:00~16:00 (終了予定)

FUNLIFE CenterBuilding にて
総社市中央2-2-8 (FLCビル)

入場料:2,000円(先着20名/完全予約制)

お申込み・お問合せ:

NPO法人つくぼ片山家プロジェクト

下記①~③のいずれか

①電話:080-3107-5759

②メール:project.katayama@gmail.com

③ホームページ(QRコードから)

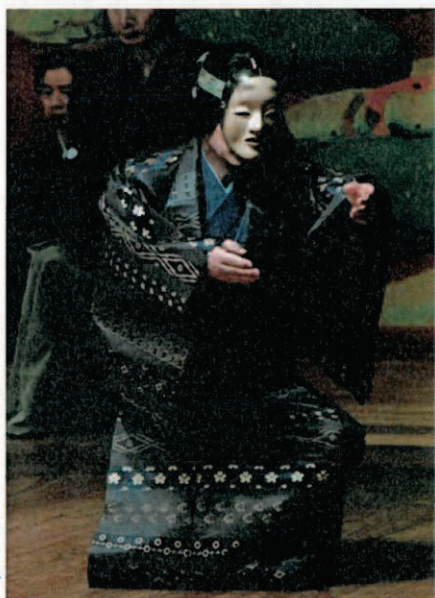


観世流シテ方・林宗一郎と
「藤戸」を見つめる



十三世林喜右衛門
(金の星波辺写真場)

※本講座はトークイベントです。能「藤戸」の上演ではありません。
(2022年2月6日に倉敷芸文館で上演予定です)



能「藤戸」とは

1184年の源氏・平家の藤戸合戦が題材。世阿弥の作と伝えられている。

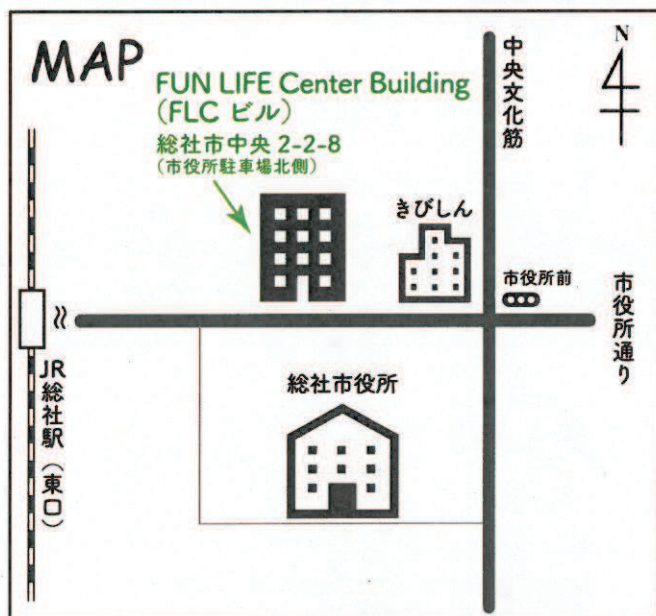
藤戸海峡を隔てて対峙する源平両軍。当時、この地はほとんどが海だった。源氏の軍勢は船がなく、海を渡ることができずにいたが、源氏の武将・佐々木盛綱は、地元の漁師から浅瀬の場所を聞き出して、翌朝そこから攻め込むことに成功する。平家軍は屋島へと敗走。まさに天下分け目の戦いともいえる合戦だった。だが、盛綱はこの時、秘密を守るために、浅瀬を教えた漁師を殺していた。盛綱が領地となった児島に入ると、その漁師の母親が現れ、盛綱に詰め寄る。盛綱も罪を認め、盛大な法要を営むと、漁師の霊が現れる…。

“地域の歴史 × 伝統芸能” 「藤戸」は、こんなにおもしろい！



講師：
林 宗一郎氏

能楽師観世流シテ方。
京観世五軒家のうち、唯一残る林家十四代当主。
1979年京都生まれ。3歳で鞍馬天狗の花見役にて初舞台。父、十三世林喜右衛門師、及び二十六世観世清和に師事。



※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、延期・中止の可能性があります。最新情報は法人HP、法人FB等でご確認ください。
※ご来場の折はマスク着用、事前検温等の「新しい生活様式」に基づくご協力をお願いいたします。

令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業／第19回おかやま県民文化祭参加事業

主催：NPO法人つくぼ片山家プロジェクト

共催：岡山県備中県民局

後援：岡山県教育委員会／総社市教育委員会／NPO法人かんなぎ

備中能楽講座アンケート結果

アンケート回収数：10/20 50%

岡山県備中県民局・NPO 法人つくぼ片山家プロジェクト

お手数ですが、今後の企画運営等の参考としてアンケートにご協力をお願いいたします。

(1) ご来場者様について下記の質問にお答えください

お住まいの住所	倉敷市：5 (50%) 総社市2 (20%) 岡山市：3 (30%)
性別	男性：5 (50%) 女性：5 (50%)
年齢	60代以上：10 (100%)
職業	公務員：1 (10%) 主婦：4 (40%) 無職5 (50%)
来場手段	徒歩：2 (20%) 自動車（施設駐車場利用）：7 (70%) 自動車（送迎）：1 (10%)

(2) 本日の企画について下記の質問にお答えください。

①本日の企画をどのようにお知りになりましたか
岡山県備中県民局の広報・ホームページ・FB等の広報：0
主催団体（つくぼ片山プロジェクト）のチラシ・ホームページ・FB等の広報：5 (50%)
協賛団体（総社市教育委員会・NPO かななぎ等）の広報：0
知人・友人からの紹介・口コミ：4 (40%)
その他【 <u>公民館の掲示・チラシ：1 (1%)</u> 】

②本日の開催時間についての評価をお願いいたします

とてもよい：9 (90%) よい：1 (10%)

その理由：【 明るいうちに終演され安心して参加できた 】

<裏面もアンケートがあります。引き続きご記入ください>

③本日の企画会場（総社 FLC ビル）につき、率直な評価をお願いします

とてもよい：7 (70%) よい：1 (10%) 普通：1 (10%)

回答未記載：3 (30%)

その理由：【 広々として気持ちが良い、ちょっと寒かった 】

④本日の企画内容（備中能楽講座/林宗一郎先生）につき、率直な評価をお願いします

とてもよい：70% ※回答未記載：3 (30%)

その理由：

- ・講座により能楽がより身近になった
- ・能にもっとふれたいと思いました
- ・内容がよりいっそうわかりました
- ・実際の動きが良くみえました
- ・先生の話術が巧であった
- ・能についてよく知らなかったが親しみをもてるようになった

⑤あなたは伝統芸能・伝統文化に関するイベントに参加したことがありますか？

ない（今回がはじめて）：1 (10%) ある6 (60%)

程度 1年に1回：1 (10%) 年に2・3回：1 (10%) ※未記載：3 (30%)

⑥ (自由記載・フリーコメント)

- ・またこのようなイベントをしてほしい
- ・藤戸のお能を見せていただくのがいっそう楽しみになりました。
- ・能を見る人がもっと多くなると思います。古典芸能も大切ですが時代とともにある
芸能の在り方としてもっと若い人たちに共感、参加していただけるように作品の演出
を考えてもらいたい。

\\ 古典芸能はじめての一步! 参加者募集 \\

能楽体験してみませんか?



①倉敷会場 7/18(日) 13:30~15:30

つくば片山家 (倉敷市帯高727)

②早島会場 7/25(日) 13:30~15:30

いかしの舎 (都窪郡早島町早島1466)

定員 ● 各回15名 (先着順) 対象 ● 能楽を体験したい方 (小中高生推奨)

参加費 ● 1000円 (高校生以下無料 / 小学生以下は保護者1名のみ同伴)

もちもの ● 白足袋または白ソックス

※検温、マスクの着用、手洗いや手指の消毒等、感染対策にご協力ください。

お申込み・お問合せ

電話: 080-3107-5759 (滝口)

メール: project.katayama@gmail.com

またはホームページ専用フォームから →



主催 ● NPO法人つくば片山家プロジェクト

共催 ● 岡山県備中県民局

後援 ● 岡山県教育委員会 / 倉敷市教育委員会 / 早島町教育委員会 / 倉敷市文化振興財団



Chisato Iuge

講師：観世流シテ方
樹下千慧先生

1987年京都生まれ。6歳にて初舞台。その後、十三世林喜右衛門師に師事する。2012年より林家に内弟子として入門。2017年1月に書生を卒業。
現在は林定期能を中心に多くの舞台に出演し、自宅にてお弟子のお稽古や講師をつとめる。

プロの能楽師をお招きします。
初心者でも、気軽に学べる
本格入門講座!

講師：幸流小鼓方
林大和先生

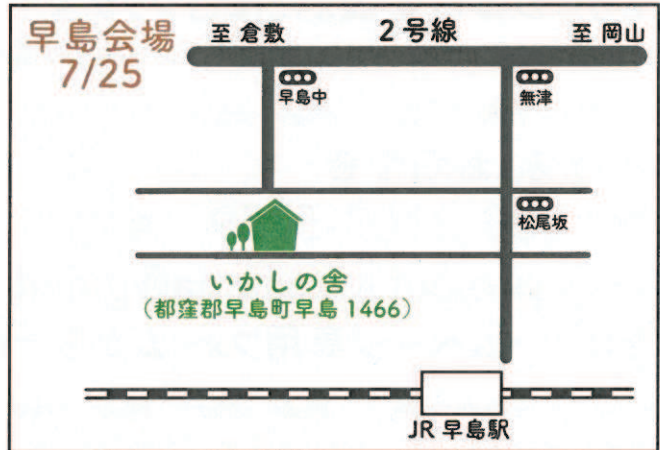


Yamato Hayashi

1982年京都生まれ。父・十三世林吉兵衛師に師事。8歳で初舞台。京都を中心に多くの舞台に出演、パリ、ロンドンなどの海外公演にも参加。
父とともに「林木双会」を主宰。
京都、倉敷のほか、大阪、神戸、浜松などで稽古場を開設している。

体験教室の内容

- ①能楽師による実演
 - ②能楽の解説
 - ③謡(うたい)・仕舞(しまい)・小鼓(こつづみ)の体験
- リズムと能楽が融合!
誰もが知っている童謡「桃太郎」を能楽で表現してみよう



令和3年度 岡山県備中県民局提案型協働事業

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、延期・中止の可能性があります。
※企画に関する最新情報や詳細は、当法人HPやFacebookでご確認ください。

2021.7 能楽体験教室 参加者アンケート結果

岡山県備中県民局・NPO 法人つくほ片山家プロジェクト

お手数ですが、今後の企画運営等の参考としてアンケートにご協力をお願いいたします。

(1) ご来場者様について下記の質問にお答えください (〇の数字は総数)

住所 ㉕	倉敷市：14 岡山市：9 早島町：2
性別 ㉕	男性：7 女性：18
年齢 ㉖	10代：13 20代：1 30代：4 40代：4 50代：2 60代以上：2
職業 ㉖	生徒・学生：13 会社員：3 自営業：4 公務員：1 主婦：5
来場手段 ㉗	徒歩：1 自動車（施設駐車場利用）：16 自動車（送迎）：5

(2) 本日の企画について下記の質問にお答えください。

①本日の企画の開催日程・開催時間についての評価をお願いいたします ㉘
1：とてもよい：22 2：よい：2
②本日の企画内容につき、率直な評価をお願いします ㉘
1：とてもよい：22 2：よい：2
③あなたは伝統芸能・伝統文化に関するイベントに参加したことがありますか？ ㉙
1：ない（今回がはじめて）：13
2：ある：9 （程度 数年に1回：1 1年に1回：1 その他：定期的7）

一部記載漏れあり。実数値にて記載

1. 属性

住所：①備中県民局エリア 倉敷市：56%、早島町：8%

②その他（岡山市）：36%

性別：男性：28%、女性：72%

年齢：10代：50%、20代：3.8%、30代：15.4%、

40代：15.4%、50代：7.7%、60代以上：7.7%

職業：生徒・学生：50% 会社員：11.5% 自営業：15.4%、

公務員：3.8%、主婦：19.2%

来場手段：徒歩：4.5%、自動車（施設駐車場利用）：72.7%、

自動車（送迎）：22.7%

2. イベント評価

①開催日程・開催時間

とてもよい：91.6% よい：8.4% （とてもよい・よい評価で100%）

②企画内容

とてもよい：91.6% よい：8.4% （とてもよい・よい評価で100%）

③伝統芸能イベントの参加経験

経験なし（はじめての参加）：59.1%

経験あり（参加したことあり）：40.9% …うち定期的が77.8%

個別記載：

- ・プロの能楽師の方にご指導いただける貴重な体験でした（小学生・女子）
- ・凝縮した内容でアウトラインを知ることができた。（40代・女性）
- ・時間はちょうど良い。昼食後の良い時間（30代・男性）
- ・能が体感できたから☆（小学生・男子）
- ・ずっと体験してみたかったのでうれしいです！（30代女性）
- ・（日程について）日曜なので参加しやすい（10代・女子）
- ・ふだん体験できないことなのでよい（30代・女性）
- ・誰にでもわかりやすく教えていただき楽しかったです（50代・女性）
- ・ようじもなかったしたのしかった（小学生・女子）
- ・はじめての能だった（60代・女性）
- ・日頃体験できない能楽ができてとても貴重な体験でした。見たこともありませんでした。ありがとうございました♡（40代女性）

● 備中伝統芸能フェスティバル ●

観世流シテ方・林宗一郎

「藤戸」演能会

2022年2月6日(日)

12時開場 / 14時開演

地域活動団体による舞台発表やロビー出展も!
(ロビー出展は開場時刻の12時より開催予定)

倉敷市芸文館 大ホール

(岡山県倉敷市中央1-18-1)

【入場料】 全席自由

◎大人 2000円 (税込)

◎生徒・学生 1000円 (税込)

(小学生・中学生・高校生・専門学生・大学生)

◎未就学児 無料

(要保護者同伴・要事前申込)

※当日券の販売はありません。



十三世林喜右衛門(金の星渡辺写真場)

【チケット販売方法】 以下の①②いずれかの方法でお求めください。

①プレイガイド(チケットぴあ)販売

公演タイトル:備中伝統芸能フェスティバル「藤戸」演能会 / Pコード:510029 / 興行コード:2134545

販売用URL: <http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2134545> →

②つくば片山家での直接販売(要事前連絡)

特定非営利活動法人つくば片山家プロジェクト 〒710-0023 倉敷市帯高727

電話:080-3107-5759 / メール:project.katayama@gmail.com





十三世林喜右衛門（金の星渡辺写真場）

能「藤戸」とは

1184年の源氏・平家の藤戸合戦が題材。

藤戸海峡を隔てて対峙する源平両軍。当時、この地はほとんどが海だった。源氏の軍勢は船がなく、海を渡ることができずにいたが、源氏の武将・佐々木盛綱は、地元の漁師から浅瀬の場所を聞き出して、翌朝そこから攻め込むことに成功する。平家軍は屋島へと敗走。まさに天下分け目の戦いともいえる合戦だった。だが、盛綱はこの時、秘密を守るために、浅瀬を教えた漁師を殺していた。

盛綱が領地となった児島に入ると、その漁師の母親が現れ、盛綱に詰め寄る。盛綱も罪を認め、盛大な法要を営むと、漁師の霊が現れる…。



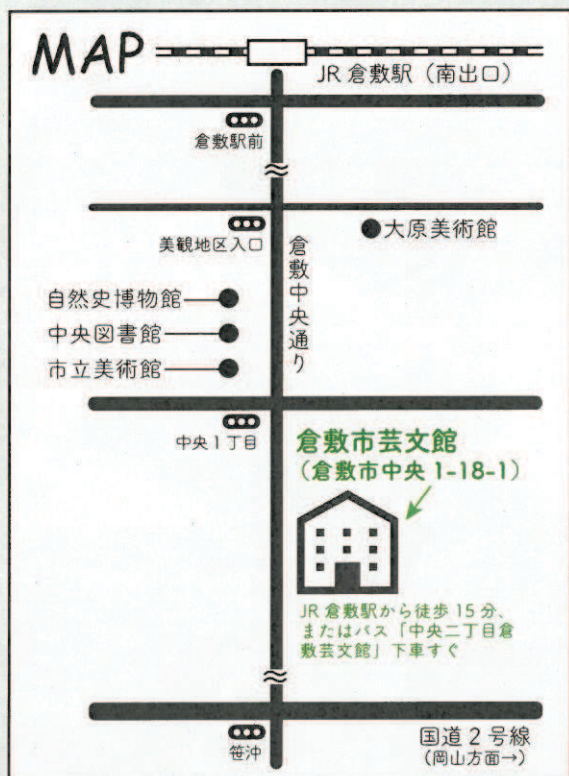
林 宗一郎氏

能楽師観世流シテ方。

京観世五軒家のうち、唯一残る林家十四代当主。

1979年京都生まれ。3歳で鞍馬天狗の花見役にて初舞台。

父、十三世林喜右衛門師、及び二十六世観世清和に師事。

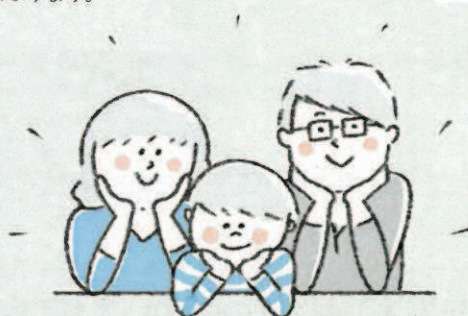


地域活動団体による舞台発表やロビー出展も!

「備中伝統芸能フェスティバル」では、「藤戸」演能会に加え、伝統芸能などの分野で活動している備中地域の団体等の発表・交流の場として、それら団体等による舞台発表やロビー出展を企画しました。なおロビー出展は、開場時刻の12時より開催予定です。

未就学児の入場OK!

感染症対策の一環で、事前に来場者数等を把握する必要がありますので、未就学児のご来場を希望される場合は、専用サイトで「事前申込」を行ってください。専用サイトには、右記QRコードからアクセスいただけます。



令和3年度 岡山県備中県民局提案型協働事業

主催：特定非営利活動法人つくば片山家プロジェクト

共催：岡山県備中県民局

後援：岡山県教育委員会／倉敷市教育委員会／公益財団法人倉敷市文化振興財団

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、延期・中止の可能性があります。最新情報は法人HP、法人FB等でご確認ください。
※ご来場の折はマスク着用、事前検温等の「新しい生活様式」に基づくご協力をお願いいたします。